



(一財)兵庫県学校厚生会写真公募展 入選作品 「やったあ、進級だ！」 奥田 美千代さん(たつの市立河内小学校)撮影

教育 ひょうご

発行所 神戸市中央区中山
手通4丁目10-8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合
代表者 泉 雄一郎
編集人 森 戸 卓也
電話 050 (3538) 2346
1部7円 年定価280円
(組合員の購読料は
組合費の中に含む)

2016/1・1

No. 1897

新年号

兵庫県教職員組合の皆様、新年あけましておめでとうございます。
「民主主義社会のベル」を鳴らすのは誰なのか？
昨年夏の国会をとりまく人の渦の中で、私はそのことを考え続けていました。私たちが想像もできない運動の在り方を示し、しっかりと社会の未来を考えている若者たち。已むにやまれぬ思いと幼子とともに胸に

**日本教職員組合
中央執行委員長 加藤良輔**



保護者・地域の方が過去最
ト報告は教職員347本
の参加を得ました。リポ
4600人(内子ども・保
護者・地域の方800人)
の参加を得ました。リポ
ト報告は教職員347本
の参加を得ました。リポ

**兵庫県教職員組合
執行委員長 泉雄一郎**



「真の民主主義」を開くベルを鳴らそう

抱き、その子の未来を見つめる母親たちの姿もありました。
連日国会を取り囲んだ人たちが、全国各地の街頭で訴え、辺野古で座り込み、政権の横暴に怒りの火を燃え上がらせた人々。何百万、何千万のそんな人たちが「民主主義社会のベル」を鳴らすのです。いつか来た道を歩まないために。私たちがまた、そんな一人であり続けたい。そんな民主主義社会を創っていく、担っていく子どもたちを育んでいきたいと思えます。
子どもたちの確かな未来のために、日教組の旗の下、ともにがんばりましょう。

**日政連 参議院議員
なたにや正義**
新年明けましておめでとうございます。日頃からのご支援・ご指導に感謝するとともに、新しい年が、皆さまにとって素晴らしい一年になりますことを心からご祈念申し上げます。
いよいよ大勝負の年が明けました。安倍政権は昨年、憲法違反の法案を強行に成立させ、臨時国会も開きませんでした。まさに違憲状態づくめで、立憲主義、民



高の54本となりました。これらは、支部段階からの地域に開かれた教育研究集会の積み重ねの成果であり、支部・分会の日常的なとりくみに心からの感謝を申し上げます。
分科会参加者からは、「学び方を学ばせる」という視点が勉強になった」「同一性障害の当事者からのレポートがあり、学校がとりくむべき課題があらわになった」「地域ボランティアやPTAの方などが参加されているのは、学校と地域が連携して子どもたちを育てていく上で有意義だと思つた」「防災教育は災害について知る、備えるを知るだけににとどまらず、心の教育」という部分も大切だと感じた」などの感想が寄せられました。社会情勢や子どもを取り

まく環境が厳しさを増す中、学校、家庭、地域社会、教育関係機関の連携や社会的対話がよりいっそう重要度を増しています。だからこそ「地域に開かれた教育研究集会」「地域にひらかれた学校」に意義があると考えています。
県教研で交流・討議された実践を2月に開催される教育研究全国集会で発信するとともに、その学びや成果を支部・分会へ還元し、子どもに寄り添う教育実践を推進していく必要があります。
今年7月には参議院議員選挙がおこなわれます。日教組は兵庫県選挙区・みずおか俊一さん、比例代表・なたにや正義さんを推薦決定し、法令遵守のもと後援会活動ですすめています。「子どもの権利条約」の

すべての子どもにゆたかな学びを！

子どもたちに輝く未来を

主義、平和主義を破壊し、独裁政治を続けています。これに対し日教組は、「教え子を再び戦場に送るな！」のスローガンのもと民主教育の確立と平和主義を貫いてとりくんでこられました。私も未来を担う子どもたちのために、日教組の皆さまと同じ思いで12年間議員活動にとりくんできました。
この夏におこなわれる参議院議員選挙は、その両者が真っ向から衝突する、まさに剣ヶ峰と言っても過言ではありません。私も「安

理念を実現していくには、「子どもの最善の利益」につながる教育・福祉政策や教育予算の拡充などが必要です。同時に、平和憲法の根幹である「個人の尊厳」に立脚した民主主義社会の実現をめざしていかなければなりません。
そのためには学校現場の実情をよく知る教育界出身の議員が国政の場に必要です。こうした意義を再確認し、**みずおか俊一さん、なたにや正義さん**の三選にむけてとりくんでいきたいと思います。
日教組は、教職員の実践がゆたかなものとなるよう、勤務時間の適正化、教育条件の整備・拡充、給与水準の向上、こころの通いあう学校づくりに向け、引き続き「参加・提言・改革」の運動をすすめます。
運動の基盤は組織力であり財政力です。新年度も新規採用教職員を中心に日教組加入促進にとりくみましょう。
本年も、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

**兵政連 参議院議員
みずおか俊一**
みなさま、あけましておめでとうございます。日頃から温かいご支援をいただき、心からお礼申し上げます。
昨年の第189国会は、労働者派遣法の改悪、安部閣連法の強行採決による成立など、安倍政権の横暴さを次々と国民に示した国会でした。憲法学者や国民の声にも一切耳を貸さず強行採決の暴挙に出た政府のやり方は、独裁政治そのものです。民主的な手続きを放棄した国会はその存在意義を失います。まさに立憲主義、民主主義崩壊の危機的状況です。このような強権政治姿勢の安倍政権を断じて許すことはでき



いのち、くらし、平和を守るために

「憲法改悪阻止」のために、絶対に勝たなければならぬ、という強い思いの中でとりくんでまいります。
誰もが等しく将来への展望を持ち、個々の違いを認め合い、支え合う国づくりをめざす中で、子どもが生まれ育ちやすい環境整備に全力投球します。そして子どもたちのための真の教育改革にむけて邁進します。
子どもたちに輝く未来を手渡すことができる社会を、皆さまとともに築き上げていきたいと思います。

今回の選挙では、「いのち・くらし・平和」をキーワードにしたたたかうつもりです。安倍政権と対峙し暴走を止めるためにも、04年の初当選から一緒に国会で頑張っている**なたにや正義さん**とともに勝ち抜くことが私の任務です。安心して働ける社会、誰でも学べる社会をめざして全力を尽くしてまいります。
結びに、みなさまにとって良い年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

ません。
安倍政権の次なる狙いは、労働者保護ルールを破壊する「労働基準法改悪」です。そして今年の参議院議員選挙の後には「憲法改正」を狙ってきます。今こそみなさま方と連携し、何としてもこの動きを阻止しなくてはなりません。
私たち日政連・兵政連議員は、「教え子を再び戦場に送るな！」のスローガンのもと、絶対に戦争を許さず、安心・安全な社会を未来へと繋ぐ大きな役目を担っていると考えます。



第65次兵庫県教育研究集会

ひょうご教育フェスティバル

子どもの育ちを考えるシンポジウム 基調講演

11月14日(土)から2日間開催された第65次兵庫県教育研究集会「ひょうご教育フェスティバル」の記念事業「子どもの育ちを考えるシンポジウム」の基調講演の一部を紹介します。

全体テーマ

震災から学ぶ、いじめ、虐待への予防と対応

基調提案1

教育の創造的復興、震災から学ぶ生命と心の教育、心合わせ、力合わせから生まれる成果



元兵庫県教育次長
こども教育支援財団
評議員 近藤靖宏さん

阪神・淡路大震災後の防災教育

震災で一瞬にして過酷な現実が創出された。壊れてもお金と時間をかければ復旧できるものもあるが、命のように元に戻らないものもある。一人の命が失われると、家族を含めて周りの親しい人々が受ける喪失による悲嘆は計り知れないものがある。震災で傷ついた

心の理解やケアについて、河合隼雄先生をはじめ臨床心理士の方々から指導を受け、その必要性を強く認識した。スクールカウンセラーの配置が始まったのは、この年の4月からである。

当時の貝原俊民知事は、単なる復旧ではなく、より豊かな社会をめざす理念として、「創造的復興」を提唱された。教育委員会も「教育の創造的復興」という言葉をよく使った。その中で防災教育についても、従来からある災害安全教育に加えて、震災から学んだ助け合いの心やボランティア精

子どもの命をめぐる事件

震災から学んだ教訓の取組をすすめるようとしていた矢先に、いじめによる女子高生による自殺、男子高生による友人殺害事件、そして神戸連続児童殺傷事件が起こった。

事件を受けて、懇話会や委員会を開いて心の教育について検討を重ねた。97年「心の教育緊急会議」の提言は生命と心の教育について今後の方向性を示す貴重な内容であると思っ

官民の協力が成果を生む

震災とその後の事件は兵庫の教育にとって大きな負の事象だったが、これらの問題解決に「人の和」を得て、より良い教育の創造へと向かうことができた。官・民を問わず、教育を良くしたいという強い思いを持つ多くの方々の心合わせ、力合わせが成果に結びついたのである。その典型的な例として、トライや「ウイーク」があげられる。このように官・民の力合わせがあつて、子どもの成長、心の成長に大きな成果が現れる。教育の営みは

「知・徳・体」と言われる。徳育と体育の分野は官・民の協力体制において改善がすすんだが、知育の分野にまだ課題が残っているように思う。



この後おこなわれたパネルディスカッションの内容は後日掲載します

お正月ファミリーパズル

まちがい探し

パズル制作：ひろ みよこ

右と左の絵をよく見くらべると、違っているところが10ヶ所あります。どちらかの絵に10ヶ所赤丸を入れ、切り取ってはがきに貼って送ってください。お名前、年齢、支部名、住所(郵便番号も)を明記の上、ご応募ください。また、本紙の感想などもお寄せください。20名様に粗品を差し上げます。

締め切り：1月31日(消印有効)
あて先：〒650-0004 神戸市中央区中山手通4-10-8ラッセホール4F「教育ひょうご編集部」



いじめ・自殺 防止施策
2011年から中高生の自殺が増えているという報道がある。もう一度、これまでのいじめ防止、自殺防止の施策を考える時期なのではないか。一つは報道のあり方。いじめが報道されるたび、いじめを受けたら自殺をする、知らず知らずのうちに子どもたちが刷り込んでいくのではないかと危惧する。どう乗り越えていくかが課題だと思う。

トライやる・ウィーク

神戸連続児童殺傷事件を受け、始まったのが全国に



兵庫教育大学教授
富永良喜さん

基調提案2

「生命と心の教育」の持つ意義と新たに見えてきた課題

発信されたトライやる・ウィーク。当時、中学生が地域(幼稚園や保育園)に来ることに否定的な声もあった。これは、事件による地域の人が抱えたトラウマであり、安全な刺激と危険な刺激の区別がつかなくなるとのこと。それを乗り越える非常に素晴らしい社会事業であった。

ストレス対処の体験授業

心の教育総合センターでは、さまざまな心の授業を現場の先生と開発していった。学校教育の中で、怒りや悲しみとのつきあい方を一緒に考えたり、体験したりする時間がこれまでなかった。こういう授業をとり入れた学校では、いじめ

ストレスマネジメント

今、「チーム学校」が叫ばれている。先生方の過重労働を何とかしようという

の頻度は下がらなかった。子どもの心の中で起こることを、きちんととりあげ対応していくことが必要だと思

心の教育とは

心の教育は、生命の教育、心の健康教育、個別相談体制からなるとわかった。自分のイライラやムカつきを自分で眺め、セルフチェックするような「自分教材」を大切にし、読み物教材の「おはよう」と声をかけたが返事が無い」といったストーリーを提供する。自分自身が自分に向き合うような時間として、道徳の時間が変わるべきだと思う。

協働して防止する

いじめはストレスとも関係がある。家庭での不満を学校で発散しようとしているというデータがある。また、「何か面白そうだからやってみよう」といった規範意識の弱さから起こるいじめもある。スクールカウンセラーと協働して、これらの課題を克服する取り組みを展開していくべきだと考えている。

あけましておめでとぅございませす。



岩下あきら
(西宮市議員)



さきもと祐治
(前神戸市議員)
須磨区



みずおか俊一
(参議院議員)



ひわだ充
(三田市議員)



つだ加代子
(川西市議員)



北野さと子
(宝塚市議員)



川上八郎
(伊丹市議員)



もりかみ祐治
(南あわじ市議員)



三木浩一
(たつの市議員)



おなか利治
(明石市議員)



古田ひろあき
(三木市議員)



おくの尚美
(民主党兵庫県
第7区総支部幹事)



池田けい子
(民主党兵庫県
第5区総支部副代表)

兵政連(議員団)一同